

2014年10月23日

新宿区長 殿

法人名 特定非営利活動法人  
日本映画映像文化振興センター  
所在地 東京都新宿区歌舞伎町二丁目45  
番5号 新宿永谷ビル4階408号  
(フリガナ) テラワキ ケン  
代表者氏名 理事長 寺 脇 研

## 事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

## 1 助成対象事業

事業名	新宿子ども映画祭 - 自然と動物 -
実施日時又は期間	2014年8月22日（金）10：00～15：15 8月23日（土）10：00～15：35
対象者の範囲及び人数	小学生、中学生、保護者、一般新宿区民 延べ73人
事業内容	8月22日 「マタギ」「唐がらしのまち」「こむぎいろの天使～雀と少年」 上映 後藤俊夫監督のお話 8月23日 「マタギ」「唐がらしのまち」「こむぎいろの天使～すがれ追い」 上映 後藤俊夫監督のお話
具体的な活動状況	①日程・会場の再確認 ②チラシ・ポスター等の印刷。学校・施設等への配布、掲示依頼。学校を廻っての動員依頼。 ③区報・新聞等への告知、掲載依頼。 ④会場の下見・確認。 ⑤講師・スタッフ・バイトの再確認。 当日 8月22日 10：00～15：15 事業内容に則り開催 23日 10：00～15：35 //
事業の成果	8月22日 入場者数 48名（うち、子ども5名） 23日 // 25名（うち、子ども2名） 計73名(招待者含む) 「いつか子どもたちのために、映画祭的なものを開催したい」と望んでいたことが、今回助成金の支援によって開催できたことは、当法人にとって大きな成果でした。 新規事業立ち上げということで、一番の課題は集客のことでした。それなりの策は講じ、期待もしましたが、結果は大きく裏切られる形となりました。「子ども映画祭」と銘打ちながら、子どもの動員（保護者を含めて）が全くできなかったことは、今後大きな課題を残すことになりました。反省点もいろいろ

	<p>あります。一般の入場の方々の好評を得られたことはまだ良しとして、事業の成果としては、限りなく低いと言わざるを得ない結果となりました。</p> <p>映画祭の目標とした最大の視点「子どもたちのために」或いは「子どもの人間形成・情操教育に役立てる」という課題からすれば、残念ながら、子どもたちを動員できなかったことでは、開催の意義なしと言われても仕方のない事実かもしれません。</p> <p>ただ、一般参加の方々から、「失敗は成功のもと。第1回でくじけることなく、方法を再検討して次回も」と励ましを頂いたこともあり、当法人としては、何等かの形で再挑戦をしたいと考えています。</p>
--	--

## 2 助成対象事業費内訳（実績）

	経費	積算根拠（内訳）		金額
	収入	団体負担金		
参加費・資料代等		有料入場者 8/ 22 @1,000 円×29 人=29,000 円 23 @1,000 円×11 人=11,000 円		40,000 円
その他の収入				円
協働推進基金助成金		助成金交付額		300,000 円
計				387,146 円
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	20,490 円	戸塚地域センター多目的ホール（下見 2 回）2,700+2,200=4,900 円 " "（当 日）@6,600×2 日=13,200 円 永谷ホール会議使用料 2,100 円 会議用資料コピー代 290 円	
	宣伝費	54,230 円	チラシ作成料（A4 カラー両面）30,000 円 チラシ印刷（A4 カラー両面）3,600 枚一式 20,000 円 ポスターコピー（A3 カラー片面）80 円×47 枚=3,760 円 挨拶状（A4 モノクロ）10 円×47 枚=470 円	
	リース費	70,000 円	上映作品借料 「マタギ」 30,000 円 「こむぎいろの天使 - 雀と少年 -」 10,000 円 「こむぎいろの天使 - すがれ追い -」 30,000 円	
	消耗品費	2,090 円	角 2 封筒 789 円（73 枚）油性マーカー@108 円×2 本=216 円 DPP クリスタルパック（A4）777 円 ゴミ袋（10 枚入）308 円	
	謝礼	130,000 円	講師謝礼 @30,000 円×2 日=60,000 円 映写技師 @20,000 円×2 日=40,000 円 司会者謝礼@ 3,000 円×2 日= 6,000 円 ボランティア謝礼@3,000 円×4 人×2 日=24,000 円	
	人件費	44,000 円	@4,000 円×5 人×2 日=40,000 円 @4,000 円×1 人×1 日=4,000 円	

	材料費	4,660 円	黒ビニール（暗幕代替用）1 巻 3,840 円 同上用 PE ヨウジョウテープ @410 円×2 巻=820 円
	交通費	14,400 円	講師交通費（飯島～新宿） 3,600 円×（往復）×2 回（下見、本番）=14,400 円
	その他諸経費	8,711 円	保険料 @50 円×150 人=7,500 円 郵便代 @82 円×8 通=656 円 @185 円×3 通=555 円
	助成対象事業費（小計）	348,581 円	
	余 剰 金	38,565 円	
	助成対象外事業費	円	
	<b>事 業 総 額</b>		<b>387,146 円</b>

### 3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	<p>第 1 回ということで、期待と不安、半々の開催でしたが、結果はただ一点、子どもたちを始め集客できなかったことに尽きます。開催事業の内容としては、後藤俊夫監督、映画会社等の協力を含め、十分納得のできる内容であったと思います。観客動員という目標については、達成感は全くありません。</p> <p>申請書で“延べ 300 人”の参加者予定で申請しましたが、その後諸状況から“延べ 150 人”と下方修正、区報掲載、チラシ等も“延べ 150 人”としました。大人 100 人、子ども 50 人の参加を想定しました。結果は大人 66 人、子ども 7 人の延べ 73 人の参加者にとどまりました。</p>
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	<p>残念ながら、良い映画を観る機会が設けられ、ある数の大人がこれを観賞できた、ということ以外、効果は見出せなかったと思います。今後、子どもたちを動員できる確実な方法を検討・確立することにより、開催そのものの目標・目的を見出すことが可能と思います。</p>
費用対効果は適正であったか。	<p>目標の集客ができなかったことで、費用対効果は適正ではなかったのかもしれませんが、ただ、より少ない費用で開催できたことは、多くの方々の理解と協力があったればこそと考えています。</p>
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	<p>集客の難しさを今回ほど痛切に感じたことはありません。</p> <p>①実施日が夏休み中というのは、難しいか。実施日程の再検討。 ②子どもたちの動員を確実に把握する方法は？ ③宣伝方法での子どもたちの視点のつかみどころの再考。 ④子どもたちが参加できるよう親への先導の働きかけ ⑤子どもたちが興味をもってとびつきそ</p>

	うな「目玉」(例えばアニメの上映)を持つことが必須か ⑥学校とのタイアップによる出前映画祭(会)的開催の検討。
理解者や支援者が広がったか。	一般参加の人たちの理解は得られたと思います。今回支援して下さった関係者の輪は広がって行くと思います。
事務局の執行体制は十分だったか。	全く問題ないと思います。
今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。	現在の当法人の状況からして、次回も助成金或いは寄附金等の助けがなければ、財源確保は難しく継続は困難だと思います。したがって、費用のかからない新しい取り組みができるか、開催方法を見直す案も含め検討中です。
その他	映像が氾濫するなか、子どもたちにとって余程魅力ある目玉がない限り、わざわざ足をはこんでくれる時代ではないのかもしれませんが。 観てもらえれば、その内容は充分納得してもらえたはず。やはり集客の問題が、今後の最重要課題として残った開催でした。

#### 4 活動の成果

\*事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。  
\*参加者の意見なども報告してください。

当日の写真、配布チラシ、アンケートコピーを添付しました。  
参加者から次のような口頭意見をいただきました。

- ・ 良い映画だった。感動した。
- ・ もっと沢山の人が観てほしかった。
- ・ 次につなげてほしい。
- ・ 子どもの集客がなされていない。
- ・ 作品選定に再考を

アンケートの回収が殆どできなかったのは残念でした。